

(歌詞)

(それでいい)(宮原貴子)

んは今何に一番耐えているのだろう？
知りたくもなかった真実なの？優しいウソなの？
どちらにしろ、誰から見ても何かに打ちのめされた
姿がどこでもあつた。理不尽な事、何かに負け
た事、誰にも知られたくない秘密、昔からあつ
た。時代は生きている限り待ってくれない。何で
生きてないといけなの？そんな叫びがどこ
かにある。だけどもあえて言おう。何を楽しみに
生きていきたいか？と。言葉に出来なくても、夢を
見る事さえできない今も、心だけは自由なのだ
から。誰にも見せなかつた涙を心からの笑顔に
変えていく為に一生けん命に生きてきたのだか
ら。障害とか、立場とか、肩書きだとか関係
無く自分の人生を生きていく為に他の誰で
もない自分の道を決めるのは自分自身なの
だから。決まりきつたテストに他の答えを好きな
言葉で書いてバツをもらっても、それはまぎれ
もなく正直な気持ちだから。それはそれでいい。

— オトコモリウター (歌詞)
(失恋) (宮原貴子)

出合いに別れは遅かれ早かれつきもの。分かり切っているも繰り返す。何故やら、人は変わるから、どんな形でも終わる。別れを告げる人告げられた人迷いながらそれぞれの家へ帰る眼よ眠れ、悲しい気持ちを持ちながらそれぞれがこれで良かったのか分からないままでも涙と切なさだけじゃなく良い事も悪い事も教えてくれたはずだから明日へ旅立つ為に泣き、涙れと共に眠れ。新しい朝を迎え、それぞれの思いを胸にいつもの毎日に戻る。人はいつも大人になると共に心で泣き、顔で笑う事を覚えていく。だけど心の傷は傷だけでは終わらない。色々な出合いと別れが人に何かを教えてくれる。人と人とのつながりが永遠でなくても、それだけでは終わらない。人生最後は、良かったよありがとうと言えるような人でありたい。光と暗闇が交差する。それが心、それでもあなた方に出会えて色々教えてもらっていたから。そういう人でありたい。 KOKUYO

(歌詞)

(生きていく)(宮原貴子)

思いがけない言葉や心ない言葉に、人誰に
も知れず悩んだ心の傷。あれは若さからなのか。
誰にも言えなかったからなのか？恨んでみたり
自分を責めたり繰り返して行ったりきたり
命さえもいらないと何度も苦しんで、だけど
ここまで生きてきたのは私を待ってた人がいた
から。本当の答えなんて人それぞれ。そして
それでいい。不器用でも下手でも、私を愛して
くれた人。これから生きる限り、何かがある
が好んで分からない。でも生きてこれた。今
まで生きてこれた。これでいいか充分分からない。
絶対好んで正解はなくても、間違いなんて事
もない。これだけは言える私に私で良いと。
笑顔の中で心が泣いても、人は皆素晴ら
しい何かを持って居るから。これからも生きてく、
涙れたなら、安らぎを。人は皆生きているから
夢も見れるし言葉を交わせる。それだけは
忘れないで、どこにいても忘れないで。

(歌詞)

(高齢者より) (宮原貴子)

年々体力気力がタ落ち、目も悪くなり。
父がネをあでこに掛けて父がネを探してる
体中があちこち痛い。栄養剤が欠か
せない。薬の量が3食分分からない。
街へ出ると迷子になる。テレビを見て顔と
名前が出てこない。年々、あれこれと言ってる
意味も家族には何の事か分からない。
トイレが近いから、旅行なんて出来なくなる。
最近病気の事で頭いっぱい、同窓会で
自慢してる。車に乗ればアクセルブレーキ
まちがえてどこそで事故起こす。歯も悪
いから食べ物決まってる。うっかり食べ物
のどにフめかけて家族中大騒ぎ。気も
短くなって赤信号でイライラ。だけどこれた
けは忘れない大好きだった場所。思い出
にひたり家族と過ごすときが何よりの楽
しみ。いつか亡くなる時は、誰にも迷惑か
けないように生きてる内に終活をする。